

国際協力機構東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクト

派遣先：東ティモール民主共和国 東ティモール大学

派遣期間：平成 25 年 3 月 9 日（土）～3 月 21 日（木）

技術職員：3 名

活動内容：

1. プレス切断機のモータ取替え、調整、カバー取付
2. 旋盤の主軸調整
3. ロックウエル硬度計の修理
4. 横フライス盤 プログラミング、操作指導
5. ドリル研磨機修理調整
6. ボール盤、エンドミル研磨機操作指導
7. 工場内エア配管の整備
8. プレス切断機、旋盤、平面研削盤、両頭グラインダ、卓上ボール盤、エンドミル及びドリル研磨機のメンテナンス指導



故障していたプレス切断機のモータを新品に取り替え、回転方向を確かめる



V ベルトの張り具合や、V 溝の汚れ等を入念にチェック



取り替えが終わったモータ



メンテナンス作業をひと通り終え、カバーを取り付ける



メンテナンスを終えたプレス切断機の試運転



故障していたスクロールチャック取付け用の位置決め部品（白枠内）を交換



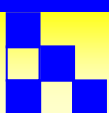
スクロールチャックを新品に交換し、主軸の振れを測定している



主軸の振れをダイヤルゲージで読み取るため、手で主軸を回す



全ての修理調整を終えた旋盤を使用して実習授業を行う現地教官





ロックウエル硬度計に不具合があり、その原因を調査中



横フライス盤の操作、プログラミング及びメンテナンス指導



横フライス盤の実習授業を行っている様子



エンドミル研磨機、ドリル研磨機のメンテナンス



工場内エア配管の整備を行い、エアカプラ3個口の立ち上がりを3か所新たに設置した



両頭グラインダのメンテナンスをしている現地教官



調整を終えたボール盤を使用して実習授業を行っている様子



平面研削盤の実習授業を行っている様子



シリンダーゲージの操作説明を受ける現地教官

東ティモール大学工学部ヘラキャンパスの機械工場にて、約2週間の支援を行った。前回(2012.8)の支援で見つかった不具合箇所等の修繕を現地教官と共に行うことで、供給機材のメンテナンス方法の指導とした。ちょうど新学期が始まった頃で、早速、彼らは供給機材を取り入れて実習授業を実施しており、有効に活用されていることを窺い知ることができた。

